

平成28年度
予算が
まとまり
ました

赤字予算編成となりましたが、 みなさんの健康づくりのサポートは 継続してまいります

2月24日に開催された当健保組合の組合会において、
平成28年度の予算が可決・承認されましたので、お知らせします。

平成28年度収入支出予算概要表

健康保険

収入

科目	予算額（百万円）
保険料	11,169
国庫補助金収入・雑収入等	14
経常収入合計	11,183
調整保険料収入	209
繰入金	1,000
財政調整事業交付金	80
合計	12,472

支出

科目	予算額（百万円）
事務費	94
保険給付費	5,480
納付金	5,718
保健事業費	374
還付金・連合会費・他	6
経常支出合計	11,673
財政調整事業拠出金	209
予備費	590
合計	12,472

経常収支差引額	▲490
---------	------

介護保険

収入

科目	予算額（百万円）
介護保険収入	1,134
繰越金・他	295
合計	1,429

支出

科目	予算額（百万円）
介護納付金	1,102
介護保険料還付金	1
積立金・他	326
合計	1,429

※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります。

医療保険制度改革によって 健保組合の負担は増すばかり

現在の日本経済では、世界経済の停滞の影響が懸念されていますが、健保組合を取り巻く情勢も一段と厳しさを増しています。

昨年5月に成立した医療保険制度改革関連法では、後期高齢者支援金の負担方法が全面総報酬割へと段階的に変更され、当健保組合を含む全国の多くの健保組合が負担増を強いられることになります。これまで健保組合は、高齢者等医療費への過重な負担によって財政が窮迫する状況に追い込まれており、国に対し高齢者医療制度の抜本的な改革を求めていたものの、改革というには不十分な結果に終わりました。

こうしたことを背景に、当健保組合の平成28年度予算は、総額124億7,200万円を計上、実質的な収支である経常収入では111億8,300万円と前年度並みとする一方、主に高齢者医療制度への納付金の増加により経常支出は116億7,300万円と前年度に比べ約5億円増加し、4億9,000万円の赤字を見込むことになりました。

健康保険：積立金からの 繰り入れで不足分に対応

収入では、みなさんと事業主から納めていただく保険料収入を、ほぼ前年度並みの111億6,900万円と見込んでいます。今年度の保険料率は母体グループ経営統合に伴う健保組合合併以来、5年間連続して7.5%を維持することとし、積立金からの繰入れ10億円などで収支不足額と各月の収入増減にともなう資金繰りに充てます。

支出においては、みなさんの医療費や各種給付金として保険給付費を加入者平均年齢の上昇等を織り込み54億8,000万円、前年度比1億500万円の増加を見込みました。

前期高齢者納付金や後期高齢者支援金など、高齢者医療制度への納付金については、前年度比4億7,500万円増加の57億1,800万円となり、保険料収入の5割以上を占め、私たち現役世代の医療費よりも多くなっています。

健保組合の役割が高まっているみなさんの健康づくりの

ための保健事業費は、前年度とほぼ同額の3億7,400万円を見込んでおり、今年度も各種健診など、みなさんの健康づくりと病気の早期発見のお役に立つ事業を実施していく予定です。

健保組合運営を取り巻く情勢の厳しさは続きますが、当健保組合では積立金残高にまだ余裕があり、今後も中期的な見通しへの注意を怠らず、財政の安定を図ってまいりますので、みなさんも日ごろから健康づくりを心がけ、医療費節減にご協力くださいますよう、お願いいたします。

介護納付金を確保するための介護保険料率は、健保組合合併以来の1.15%を維持しますが、収支がほぼ均衡し、納付金動向により保険料率の見直しを要する懸念が高まっています。今後の収支動向により注意を払ってまいります。

■当健保組合の現況■ 平成28年1月末現在

●事業所数	26社
●被保険者数	男10,804人 女10,551人 計21,355人
●被扶養者数	計16,787人
●保険料率	
健康保険 7.5%	事業主 4.8% 被保険者 2.7%
介護保険 1.15%	事業主 0.575% 被保険者 0.575%

組合会議員

任期：平成30年4月16日

（敬称略）

選定議員

互選議員

氏名等はお配りした「Sawayaka」をご覧ください。

平成28年度予算を 1人当たりでみると…

（ ）は収支の割合

